

- 問1 鎌倉時代、源頼朝が全国の荘園や公領の管理・年貢徴収をさせるために設置した役職を何という？
- 問2 平氏の栄枯盛衰を描き、琵琶法師によって語り継がれた軍記物語を何という？
- 問3 鎌倉時代に臨済宗を日本に伝えた僧侶は誰？
- 問4 元軍の襲来に備えて、鎌倉幕府が九州北部の海岸に築いた石造りの防衛線を何という？
- 問5 日蓮が人々の救いとなるとして唱えることを推奨した「南無妙法蓮華経」という言葉を何という？
- 問6 鎌倉時代に宋から帰国し、臨済宗を日本に伝えた僧は誰？
- 問7 平安時代から存在した私有地で、その地からの収穫を主な収入源とした土地のことを何という？
- 問8 鎌倉時代に領地を複数の子に分けて引き継ぐ慣習を何という？
- 問9 13世紀後半、フビライ・ハンが日本へ向けて2度にわたり大規模な遠征軍を九州北部へ送った一連の戦いを何という？
- 問10 鎌倉幕府が土地管理や年貢徴収を行わせるために、各所に配置した役職を何という？
- 問11 『方丈記』や『枕草子』、『徒然草』を総称して何という？
- 問12 13世紀にモンゴル高原を中心に勢力を拡大し、フビライ・ハンが建てた帝国を何という？
- 問13 鎌倉時代に時宗を開き、踊り念仏で教えを広めた人物は誰？
- 問14 鎌倉時代末期に『徒然草』を著した人物は誰？
- 問15 北条泰時が制定した、日本最初の武家法の別名を何という？
- 問16 武士の気風を反映し、写実的で力強い特徴を持つ、鎌倉時代に栄えた文化を何という？
- 問17 鎌倉幕府を倒し、1334年から天皇中心の政治を復活させようとした天皇は誰？
- 問18 鎌倉時代、元軍による侵攻の際に、従来の武士の戦法である一騎打ちを行うことで苦戦を強いられた、当時の武士階級の呼び名を何という？
- 問19 鎌倉時代に広まった新しい仏教の一つである時宗を開き、念仏を唱えながら踊るという布教方法をとった僧侶は誰？
- 問20 承久の乱の後、朝廷の監視と西日本の武士を統制するために京都に置かれた機関を何という？
- 問21 鎌倉時代の力強い武士の気風を反映し、東大寺南大門に安置されている、運慶らによって作られた有名な彫刻を何という？
- 問22 承久の乱を起こし、鎌倉幕府を倒そうと試みた上皇は誰？

## 答え合わせ・解説

問1	答え 地頭	1185年、頼朝は朝廷から各地への「地頭」の設置を認めさせました。地頭は、荘園や公領において年貢の取り立てや、土地の管理・警察的な役割を担いました。これにより、幕府の権力が全国各地に及ぶようになり、武士が実質的な地方支配の主役となりました。
問2	答え 平家物語	『平家物語』は、平氏一族の栄華から壇ノ浦での滅亡までを描いた文学作品です。「祇園精舎の鐘の声」という有名な書き出しで始まり、無常観あふれる物語として広く親しまれました。盲目の琵琶法師が琵琶を奏でながら語り伝える形式で広まったため、多くの人々に愛唱されました。
問3	答え 栄西	栄西は二度中国へ渡り、そこで修行して帰国後に臨済宗を伝えました。彼は座禅によって悟りを開くことを説き、武士たちの間に広く支持されました。また、宋からお茶の種を持ち帰ったことでも有名です。
問4	答え 防塁	博多湾の沿岸などに高さ約2メートルの石垣を築き、元軍の上陸を阻止するための備えとしました。この石垣を石築地（いしついでい）とも呼びます。
問5	答え 題目	日蓮は『法華経』の功德を信じ、その題目である「南無妙法蓮華経」と唱えることこそが、最も確実な救済の手段であると説きました。これを「唱題（しょうだい）」と呼びます。
問6	答え 栄西	鎌倉時代は、激動の世の中で武士を中心に新しい仏教が求められていた時代です。宋に渡り修行した栄西は、帰国後に禅宗の一つである臨済宗を伝えました。彼はまた、宋から茶の種を持ち帰ったことでも知られ、日本における喫茶の習慣を広めるきっかけを作った人物としても有名です。その後、禅の教えは武士の気風と合致し、鎌倉を中心に広く浸透していきました。
問7	答え 荘園	荘園は、中央の有力者が支配する広大な土地です。土地からの収穫物である「年貢」を領主に納めることで成り立っていました。鎌倉時代には、この荘園に地頭が送り込まれたことで、元の持ち主である領主と地頭との間で支配権をめぐる対立が絶えなくなりました。
問8	答え 分割相続	分割相続とは、武士の家督を継ぐ際に、所有する領地を子供たちで等しく分ける方法です。当初は家が維持できていましたが、相続を繰り返すたびに一人の持つ土地が小さくなり、生活が苦しくなる武士が増えました。これが御家人の困窮を招き、幕府の権威が低下する一因となりました。
問9	答え 文永の役	1274年の文永の役と、1281年の弘安の役の2度、元軍が九州北部に襲来しました。元軍は火器などを用いた集団戦法で攻めてきましたが、御家人たちの奮戦や、暴風雨の影響もあり、幕府はこれを退けることに成功しました。
問10	答え 地頭	地頭は、荘園や公領において土地の管理、犯罪者の取り締まり、そして年貢の徴収を行うために配置されました。これにより、幕府は全国の武士を統制する強力なネットワークを得ました。
問11	答え 随筆	随筆は、決まった形式にとらわれず、筆者が感じたことや考えたことを自由な文章でまとめたものです。特に『方丈記』は鎌倉時代の不安定な世相を、『枕草子』は平安時代の貴族の美意識を、『徒然草』は鎌倉時代末期の洗練された価値観をそれぞれ鮮やかに描き出しています。
問12	答え モンゴル帝国	五代皇帝フビライ・ハンは、都を現在の北京である大都に移し、中国全土を支配下に置くために国号を「元」と決めました。このモンゴル帝国は、東西の交通路を整備し、シルクロードを通じた交流を活発化させました。また、強大な軍力を持って周囲の国々に服属を要求しました。
問13	答え 一遍	一遍は、踊りながら念仏を唱える「踊念仏」を行い、全国を旅して信仰を広めました。この教えは時宗と呼ばれ、形式にこだわらず、念仏を唱えることで誰でも極楽浄土へ行けると説きました。一遍が全国各地で念仏札を配ったことも、民衆の間で信仰が広まった大きな要因となりました。
問14	答え 吉田兼好	吉田兼好（兼好法師）は、元は官職に就いていましたが、のちに仏門に入り、各地を旅しながら執筆活動を行いました。その代表作『徒然草』は、無常観や生活の知恵、日々の感想を独自の感性で綴った作品です。
問15	答え 貞永式目	この時に制定された法律は「御成敗式目」として知られていますが、制定された年号をとって「貞永式目」とも呼ばれます。貴族の慣習ではなく、武士たちの間に蓄積されてきた慣習を尊重したのが特徴で、武士だけでなく、当時領地を管理する上で法的保護を必要としていた人々にとっても重要な指針となりました。
問16	答え 鎌倉文化	鎌倉文化は、武士の気風や、新しく起こった仏教の影響を受けています。彫刻では写実的で力強い表現が、文学では『平家物語』のような軍記物語が人々に親しまれました。また、禅宗の影響を受けて、簡素で力強い美意識が確立されたのも大きな特徴です。
問17	答え 後醍醐天皇	後醍醐天皇は足利尊氏や新田義貞ら有力武士の協力を得て鎌倉幕府を滅ぼしました。その後、1334年に天皇による直接統治を目指す「建武の新政」を開始しました。
問18	答え 御家人	彼らは平時の警備や戦時の戦闘を担う、幕府の軍事的基盤でした。元軍との戦いにおいては、少人数での一騎打ちを重んじるこれまでの戦い方とは異なり、集団で組織的に攻めてくる元軍に対して非常に苦戦を強いられました。
問19	答え 一遍	一遍は時宗の開祖であり、念仏を唱えることが救済につながると説きました。特に「踊り念仏」というユニークな布教活動を通じ、全国を回って信者を獲得しました。特定の教理を学ぶことよりも、ひたすら念仏を唱えるという平易な教えが特徴です。
問20	答え 六波羅探題	幕府は京都に「六波羅探題」を設置しました。これは朝廷や西国の武士を監視し、京都周辺の治安維持や裁判を行うための重要な出先機関でした。
問21	答え 金剛力士像	東大寺南大門に安置されている金剛力士像は、運慶や快慶らによって作られました。筋肉の隆起や力強い表情など、非常に写実的かつダイナミックな表現が特徴であり、当時の力強い武士の精神性が彫刻にも表れています。
問22	答え 後鳥羽上皇	1221年、後鳥羽上皇は全国の武士に対して北条義時を討つよう院宣（命令）を出しました。しかし、幕府軍の迅速な対応により朝廷側は敗北し、上皇は隠岐へ流されました。